

U12 WTC 報告

上富田 Football Center

2011.06.19

良い面

- On the ball の部分では、特にドリブルで突破できる選手がいた。
- シュート(キック、パス)が、強く蹴れる選手がいた。
- 守備では、ポジションを意識し、アプローチが強く、攻 守の切り替えが速い選手がいた。
- GKは高身長 of 選手や、キャッチングが安定している選手がいた。

課題

- 攻守ともにOff the ball時のポジションを意識してとれる選手が少なく、「観る / 観ておく」ことができない。
- 攻撃では、「観る」ことがボールを受けてからしか始まらないため、プレーが遅れる。
- したがって、自分を苦しめるためのドリブルが多く、苦しくなったからのパスミスでボールを失うことが多い。

課題

- スペース認識のレベルが低く、マークを外してボールを受けることができない。
- 守備でも、ボールが動いてから動くため、結果、アプローチが弱く、また相手にボールが入ったときに構えられていない。
- ボールを奪った後の処理が悪い。ドリブルから始まることが多いため、すぐにボールを失ってしまう。

課題

- ヘディングをパスにできる選手が少ない。
- ドリブルに対して、粘り強く守備することが苦手な選手が多い。
- ディストリビューションに課題をもつGKが多い。
- 全体的に自ら「判断」して、「決断」し、「行動」できる選手が少ない。（「気づき」が少ない）
- すべては「観る」ことができていないのが原因である印象をもった。

今後の方向性

- まずは「観る」、「観ておく」こと
いつ、何を、どれだけ、動きながら、確認
- 次に「気付く」、「感じる」こと
状況、動き、予測、コミュニケーション
- 「決断」すること
責任をもつ、変化に応じて決断を変える
- 「技術」を発揮すること
正確に、素早く、的確に